





## 郷土芸能鑑賞会

教務部 野呂 涼太

10月7日(土)に小中合同で郷土芸能鑑賞会を実施しました。今年度は、笹野式三番保存会の皆様にお越しいただき、笹野地区の鎮守である、神明社への奉納舞を鑑賞しました。永禄4年(1561年)に現在の柏木野自治会と共催で、臼杵神社への奉納として創始されましたが、明治10年頃からそれぞれ別個の上演になっていったそうです。伝統のある奉納舞を鑑賞し、檜原村の古き良き文化を未来へ繋いでいきたい、繋がなければならない、そういった気持ちになったのではないのでしょうか。



## 子ども国際交流音楽祭交流コンサート

教務部 和田 奈津希

10月12日(木)、ウィーンの管弦楽団の音楽家5名に檜原中学校へ来ていただきました。本校吹奏楽部と「パッヘルベルのカノン」という曲での共演から始まり、他にも馴染み深いクラシック曲を木管五重奏アレンジで聴きました。コンサートの中で音楽家への質問コーナーがあり、生徒から日頃の練習時間や楽器を始めたきっかけについて等の質問がありました。「毎日数時間の練習を続ければ上手になる」、「ピアノの連弾をしていた友人がきっかけで楽器を始めた」等、気さくに回答してくださり、演奏を聴くだけでなく交流もできて充実した時間となりました。



## 鑑賞教室「狂言」

文化行事委員会 鈴木 恵理

10月13日(金)に実施された鑑賞教室では狂言の世界を堪能してきました。大きな松の描かれた舞台からは厳かな雰囲気漂い、その場にいるだけで背筋がピンと伸びるような空気感。誰もが緊張してしまうような会場でしたが、事前学習で「狂言は室町時代のコント」と学んでいた生徒たちは、演目が始まると遠慮無く声を出して大笑い。演者の方からも、「こんなに(反応があって)良いお客様は珍しい」と喜びのお言葉を頂戴し、演者と観客が一体となって素晴らしい時間を作り上げることができました。生徒の感想では「家族にも見せてあげたい」「想像と違って本当に面白かった」と、とても好評でした。



## 1年生校外学習

1年A組担任 小野 迪男

10月20日(金)、川越へ校外学習に行ってきました。『全身全霊』～檜原と川越の違いを見つけながら、楽しく学ぼう!～というスローガンを掲げ、事前学習では特産品や観光名所、お祭りなどについて調べました。また、みんなが納得して楽しい校外学習にしようと、とことん意見を出し合っていました。当日は予定外のこともありましたが、柔軟に対応していました。川越と檜原村の違いを知るだけでなく、自分を成長させてくれた楽しい校外学習になったようです。

### 【感想】一部抜粋

- 僕は校外学習で団体行動の大切さを学びました。また、檜原との違いを比べながら学習できました。
- あらかじめ調べておいたおかげで予定通りに進み、とても楽しい校外学習になりました。
- いろいろなハプニングが起きたけど対応できました。この経験で成長しました。
- いもを活かしたグルメがありました。
- 当日が近づくにつれてウキウキしていました。
- 公共交通機関を使って目的地にたどり着くことができ、地図の使い方などを学ぶことができました。
- 川越に行くのは初めてで、計画通りに行けなかったけど臨機応変に対応できたので良かった。

